



ER27

Capacity:2672cc

Maximum Power:150ps/5200rpm(ネット)

Maximum Torque:21.5kgm/4000rpm

水平対向6気筒といえばボルシェが思い浮かぶが、スバルもアルシオーネで初搭載した。ベースはEA82型1.8L水平対向4気筒で、2気筒を付け加えた形だ。当時の国産車としては大排気量の2.7Lによりノーマルアスピレーションながら高い動力性能を誇った。

高速走行で爽快な走りを実現!

待望のブランドニューエンジン
パワーと静粛性を格段にアップ

1987年にマイナーチェンジしたアルシオーネには、新たにVXという上級グレードが設定された。エクステリアの変更は微小だったが、大きな話題を呼んだのは、新開発の2.7L水平対向6気筒SOHCエンジンの搭載だった。

ER27型と呼ばれるこのエンジンは、従来の水平対向4気筒と同様、オールアルミ合金製。同一排気量の直列6気筒エンジンよりも全長が短くできるため、搭載時に前後荷重バランスが取りやすく、さらにパワートレイン系に対して左右対称であるなどの水平対向のメリットはそのまま。超ウエッジシェイプのアルシオーネに6気筒を搭載するためには、この水平対向方式しかないとも言えた。

4気筒から6気筒へシリンダー数を増したのは、もちろんパワーアップが主眼だが、エンジン回転の滑らかさも特筆するレベルになった。水平対向6気筒では、体感振動に多大な影響をおよぼす起振力や起振モーメントの1次振動(エンジン1回転につき1回発生する振動)、2次振動(エンジン1回転につき2回発生する振動)が0になる。これは水平対向4気筒を上回るもので、静粛性が格段に上昇した。

出力特性は、低中速回転域のトルク特性をフラットにすることに注力しており、低速からの出足および常用回転域では、後述するオールレンジ電子制御オートマチックトランスミッション(E-AT)とアクティブトルクスプリット4WD(ACT-4)をマッチングし、滑らかでかつ確実な走行性能が得られる。